

平成 30 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力

「ステパナヴァン市第 6 学校通学車両整備計画」 供与式の実施

平成 30 年 11 月 21 日(水)、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「ステパナヴァン市第 6 学校通学車両整備計画」の贈与 契約の供与式典が、アルメニア北部ロリ州ステパナヴァン市において開催されました。本式典には、山田在アルメニア大使の他、ガラケシシヤン・ステパナヴァン市長、被供与団体であるステパナヴァン市第 6 学校のマルティロシヤン校長及びマガキャン副校長、サハク・サハキャン博物館・文化センターのガラケシシヤン所長などが出席し、多くの生徒や父兄も参加しました。

本計画は、ステパナヴァン市内で唯一身体障害児を受け入れるステパナヴァン市第 6 学校の通学用車両を供与し、障害児を含む児童 469 名の学習環境と教職員 64 名の勤務環境を向上させるものです。既存の通学用車両は 25 年間使用されており、老朽化と消耗が大変著しく、同車両の維持管理が困難を極めていましたが、今般、日本政府の支援で車両を供与できることになりました。尚、本計画は米ピースコー および同校のピースコー ボランティアの協力の下で立ち上げられ、これを契機に、アルメニア全国に米国籍の青年ボランティアを派遣する ピースコーとの連携が深められることとなります。

[\(※ステパナヴァン第 6 学校の生徒たちが自ら作成した、スクールバス更新に関する動画メッセージ\)](#)

案件名：ステパナヴァン市第 6 学校通学車両整備計画 (於ロリ州ステパナヴァン市)

被供与団体：ステパナヴァン市第 6 学校 (Stepanavan Secondary School No. 6)

贈与金額：21,000 米ドル (2,352,000 円)

贈与契約締結日：2018 年 6 月 28 日(木)



生徒による伝統的な賓客出迎えの儀式



テープカットの様子



供与された通学用車両の前でガラケシヤン市長、マルティロシヤン校長らとともに



マガキャン副校長による開会の挨拶



生徒による演劇



謝意を込めて作られた動画メッセージ(リンクは[こちら](#))



山田大使による祝辞



供与式後のレセプション



校舎前での写真撮影